

平成 31 年度 第 2 回学校運営協議会 議事録

令和元年 11 月 27 日（水） 15：30～ 於：校長室

出席者（敬称略）

（委員）

京都外国語短期大学教授 相川 真佐夫

千里金蘭大学アドミッションセンター顧問 清水 信行

ベネッセコーポレーション 松原 良典

社会福祉法人照治会浦堂認定子ども園副園長 濱崎 心子

芥川高等学校 P T A 会長 宮脇 智幸

（校長・事務局）

校長 門田 浩一 教頭 富山 一紀 事務長 渡邊 総一郎

首席 藤原 啓明 進路指導主事 辻 麻衣子 事務局（記録） 福島 一義

【議事】

1. 校長挨拶

2. 委員紹介・出欠確認

3. 資料確認

- ・平成 31 年度 第 2 回学校運営協議会 次第
- ・『学校新聞 芥川』 269 号～273 号
- ・学校教育自己診断 質問用紙
- ・平成 31 年度 学校経営計画及び学校評価
- ・平成 31 年度学校経営計画 主要指標進捗状況（令和元年 11 月）
- ・進路指導部 資料
- ・令和 2 年度使用教科書の選定について（報告）
- ・令和 2 年度使用教科書（選定・採択）一覧表
- ・令和 2 年度使用教科書選定理由一覧表（高等学校用）

4. 協議

（1）学校の様子（藤原首席より）

資料：「学校新聞 芥川」269 号～273 号

269 号 第 2 学年高齢者施設実習 自転車交通安全指導 校外学習 部活動活動報告

PTA・後援会総会

270 号 体育祭 P T A 活動報告 花の植え付け

271 号 部活動合宿予定 新入生部加入率 82% 和太鼓・吹奏楽部 生徒会あしなが学生募金
生物部 中高交流会

272 号 和太鼓部佐賀県全国大会・西日本豪雨被災地訪問 文化祭

273 号 文化祭 後夜祭

補足 ミラニ高校との交流 オーストラリア語学研修

同じ生活をしたことが良い経験。ホームステイ先にたいへん世話になった。

ポスターも良い作品ができた。第3回学校運営協議会で報告書を示す予定

第2学年台湾修学旅行 次号以降に詳細報告

(2) 令和元年度学校教育自己診断について（藤原首席より）

資料：生徒用・保護者用・教員用アンケート

項目は昨年度と同じ ←経年変化を見たい

3者に同じ内容の質問項目 ←意識の差などを分析したい

保護者は紙・または携帯電話からの入力で協力していただく。

いじめ、政治的教養についての質問が近年新しく加わっている

☆質疑応答

- ・生徒が保護者に渡さないのでは
→メルマガを通じて、保護者に通知をしている

(3) 平成31年度学校経営計画にもとづく本校の取り組みの進捗状況（門田校長より）

資料 平成31年度 学校経営計画及び学校評価

平成31年度学校経営計画 主要指標進捗状況（令和元年11月）

①学力の向上

- ・ICTを活用した授業推進

プロジェクトの整備→第3学年の「総合的な探究の時間」

まとめ・発表授業に向けて 常設機器の整備が必要

- ・研究授業（9月27日） 数学科

- ・授業力向上月間

生徒の力を引き出す授業ができるよう、3学期には外部から講師を招き研修を行う予定

②希望進路の実現

- ・就職希望者 全員内定
- ・第1学年 卒業生を講師に迎えて進路ガイダンス
- ・指定校推薦の内定者数
- ・外部模試の受験者数・センター試験出願者 若干減少

☆意見・質疑応答

- ・評価について、学校の目標に合致しているかどうかわかるような基準が必要
- ・センター受験者減少についてはどう考えているか
→推薦入試で年内に決着したい生徒が増えている
現状ではセンター試験が直接進路に結びつく生徒は少ない
進路指導部として、受験者数を増やすことを目標とはしていない
- ・授業について教員へのフィードバックは？
→授業アンケートを年2回実施している。
- ・授業アンケートの内容 生徒が具体的なイメージを描きながら回答できるような工夫が必要
- ・芥川高校は進学だけでなく多種多様な子供のニーズに答えている
自分の子供を見ると学校に支えてもらえていると思う
自ら将来を考え切り開ける生徒づくりをお願いしたい
- ・学力の向上では、指導力の向上など教員が主語になっている
「生徒の理解が深まる」「自学自習・主体的な学び」など生徒が主語になる書き方をしてほしい

- ・判断基準が不明確。実行評価と成果評価の二つの面で指標をつくってはどうか
実行評価だけでも良いが、目標値を事前設定しておいて成果目標もあれば良い
- ・指定校推薦が増えすぎるのもどうか。
- ・授業アンケートの中間報告について昨年は第2回学校運営協議会で報告されていたのではないかとできれば用意願いたい
- ・プロジェクトの整備は、周年事業の機会に設備の整備をすすめる方法もあるのでは
→40周年事業は体育館施設の改修
→少しずつでも整備できればいい。学校によっては整備が進んでいるところもある
- ・プロジェクトは3年生優先の場合は常設か？プロジェクトの使用は教員側が中心か？
→情報科の授業で生徒も使っている。教員が使いなれば、生徒が使用することも可能
- ・スマホの活用は禁止しているか
→本校は使用しない。タブレット端末を全員持っている学校もある

③使える英語力の育成

- ・グローバル専門コース →京都外大の訪問、関西大学学生とのワークショップを予定
- ・グローバルコースの希望者数 →来年度は微減
- ・英語検定の合格者 →減少

④国際感覚の育成

- ・オーストラリアのミラニ高校への派遣、台湾の高校との交流

☆意見・質疑応答

- ・グローバルコース生徒の進路はどうなっているか
→今年はまだデータがない。昨年度は国際系に80%強

⑤体験学習の充実

- ・老人ホーム実習 校長自身も4施設を回った
実際の介護をするわけではないが、見るだけでも貴重な体験
- ・認定こども園との交流 保育実習12月～
- ・近隣の親子が来校し生徒と交流

⑥部活動、学校行事の振興

- ・学校行事 来場者数多かった
- ・和太鼓部とダンス部全国大会出場 水泳部近畿大会出場

⑦規範意識の醸成

- ・遅刻数は昨年と変わらない。一昨年に比べ減少した状態を維持している
- ・自転車指導 →外部からのお叱りもある。折に触れて生徒を指導している

⑧人権意識の向上

- ・1年生は人権学習実施、2年生も2月下旬実施予定
- ・教員対象には2学期に人権研修、3学期に教育相談研修を実施

☆意見・質疑応答

- ・座学より実習に熱心に取り組む生徒が多いと聞いているが
→そういうところはある
- ・保育実習では来園時間が昼寝と重なることがある。もったいない。
夏休みに吹奏楽部の演奏を聴いたり、サッカーをやっているところを見たりするのが、園児には良い刺激となっている。もっと交流できればなあと思っている

- ・評価について、過小評価気味か？
昨年との比較でなく、事前設定した数値に達しているかどうかで評価すればどうか

⑨学校情報の発信

- ・保護者向けにはいろいろな媒体を使って積極的に行っている。校長ブログを9月から再開した
- ・中学校・保護者への学校情報発信 →進学フェア、学校説明会など
- ・オープンスクール →昨年度より200名近く参加者が減少。原因を探りたい

(4) 進路指導部より (辻進路指導主事より)

資料：進路指導部 資料

①就職試験結果

- ・民間就職希望者全員内定、公務員希望者なし 面接練習実施

②模試

- ・PTA主催校内模試 →卒業生との情報交換の場にもなっている
- ・第3学年 →受験者昨年度より若干減少
- ・第1学年 →模試業者変更

③指定校推薦

- ・推薦が決定した生徒 →授業に対するモチベーションの低下防止
- ・面接指導などもていねいに行っている

④センター試験

- ・受験は積極的には促していない。公募制推薦とセンター試験の両立は難しい

⑤奨学金

- ・例年と申請者数はあまり変わらない。新たな給付制度導入があった

⑥推薦入試

- ・本校生が受験する大学は難化傾向が続いている

☆意見・質疑応答

- ・大学卒業時の就職面接で「大学・学部を選んだ理由 (=高校時代から自分の将来について考えていたか)」を聞かれることが増えている
早く決めてしまいたいという気持ちを優先すると、4年後後悔することになる
2年生の後半から「自分は何をしたいのか」をしっかりと考えると、周りに左右されずがんばれる
- ・生徒は知らないが、いい学びを提供する大学はたくさんある
- ・1・2年生は学習について前向き、一方で学習の方法がわからないと回答する生徒が多い。生徒の学習のモチベーションが下がる時期により刺激を与える必要がある。
- ・子供が「生き抜く力」を身につけることが大切 将来生きていく力を育成してほしい
- ・次年度の新入試についてどうか
→大きく入試が変わることはないとしている。受験指導の方針は変えない予定。生徒には情報提供を継続して行う。
- ・文科省からの指導で、指定校は11月選考、12月合格発表の縛りが厳しくなっている。生徒が自ら積極的に情報を求めている姿もみられる
→学校によって時期に差が出るのは困る
- ・今の取り組みを継続・発展させてほしい。
- ・自分の学習の方法についてわかっていない。学力の向上の目標に揚げてほしい。
志望理由が4年後の就職のときに聞かれるということだが、高校生の段階で将来像を描けない生

徒が多いのではないか。英語を使って、とは考えても職業までは結びつかない。
それぞれの大学で3つのポリシーを掲げている。高校生が学校選びの際に利用してほしい。
大学で自分探しをすることも良いと思う

(5) 令和2年度使用教科書選定報告(富山教頭より)

資料: 令和2年度使用教科書の選定について(報告)

令和2年度使用教科書(選定・採択)一覧表

令和2年度使用教科書選定理由一覧表(高等学校用)

- ・各教科で検討を重ね教科書選定委員会で最終決定、教育庁に報告

☆その他、意見・質疑応答

- ・ICT機器導入について同窓会のバックアップはどうか
→他の面でたくさん援助を頂いている

(6) 保護者からの意見書について

提出なし

5. 連絡

- ・次回予定 2月中旬に開催予定
- ・議事録の公開について 出席者に回覧の後、学校ホームページに掲載する